



「Twitterが商店街を蘇らせる!?」

〔ソーシャルメディアの活用〕

TwitterやFacebookなど、いま話題のソーシャルメディアですが、誰でも情報発信ができるという特性を上手に活かし、活性化に成功している商店街があります。商店街は、買い物客と店主が様々な情報交換をする「地域コミュニティ」としての性質を持っているのですが、昨今の大型ショッピングモールの登場などにより買い物客の足が遠のき、その活力が失われつつあります。その状況を開拓したのがTwitter。Twitterを活用している商店街では、生鮮品のタイムセール告知や、パンの焼き上がり時間の案内など、店主自らが情報を発信することで、買い物客との対話の場が生まれ、地域の人々が商店街の魅力を再発見するきっかけを与えています。新たな情報技術は、アイデア次第で私たちの暮らしや街を変える可能性に満ちているのです。

情報技術を社会のために役立てる。それが国際情報学部 国際情報学科 メディアスタディーズコース。

強く、優しく。
 金城学院大学